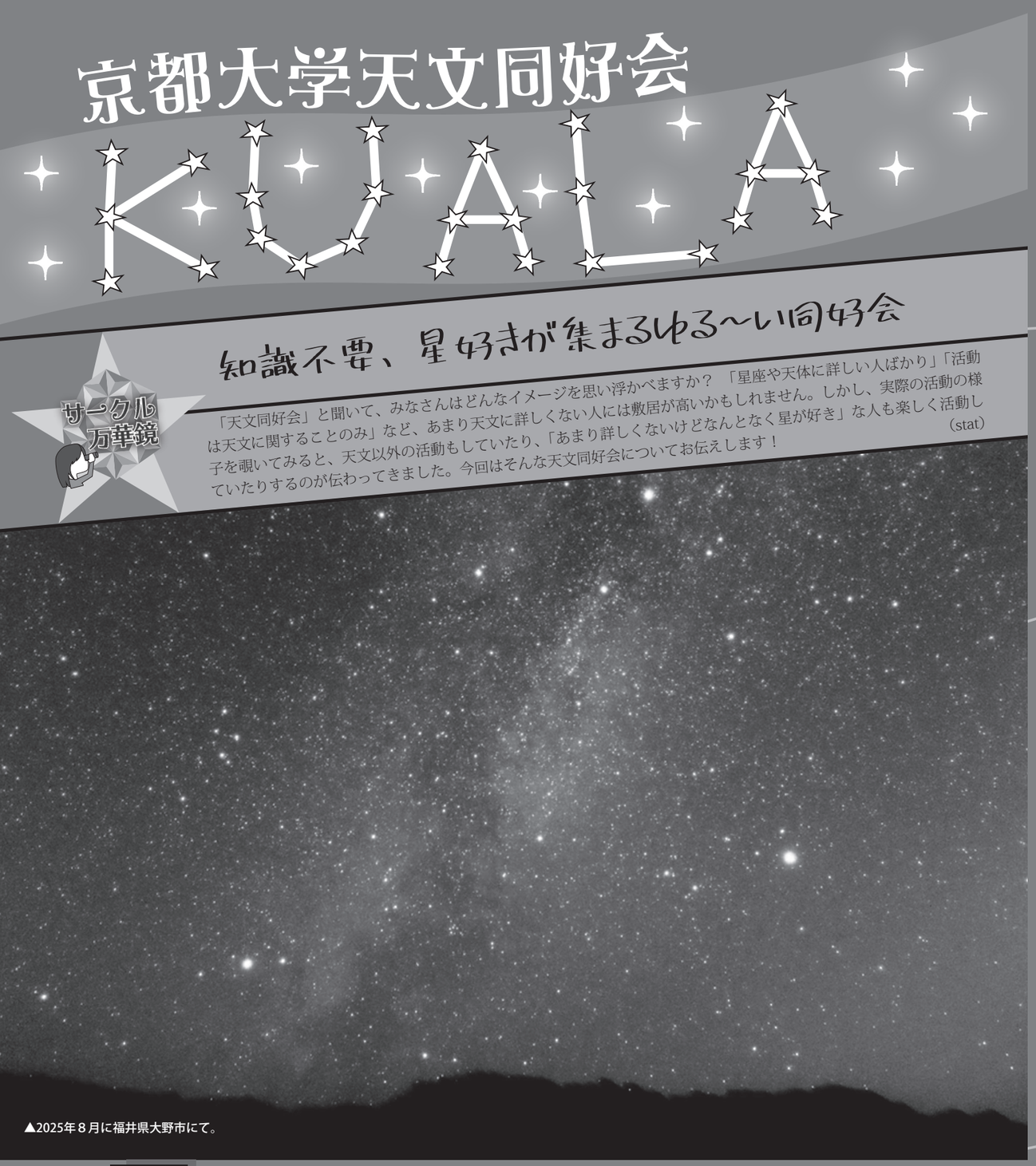
京都大学天文同好会 KUALA

知識不要、星好きが集まるゆる〜い同好会

サークル万華鏡

「天文同好会」と聞いて、みなさんはどんなイメージを思い浮かべますか？「星座や天体に詳しい人ばかり」「活動は天文に関することのみ」など、あまり天文に詳しくない人には敷居が高いかもしれません。しかし、実際の活動の様子を覗いてみると、天文以外の活動もしていたり、「あまり詳しくないけどなんとなく星が好き」な人も楽しく活動していたりするのが伝わってきました。今回はそんな天文同好会についてお伝えします！

（stat）



▲2025年８月に福井県大野市にて。

はみだしすてーじ

22歳を超えると誕生日が嬉しくなくなります。このまま老いぼれていくんだな……って。
⇒この前21歳の誕生日だったのですが、もしかして最後の嬉しい誕生日だった……？

（農・院　魚付）
（来年も嬉しかったらいいな；編）

活動紹介①　天体観測

天文以外の活動もしてはいるものの、「天文同好会」である以上まず語るべきは天体観測。このページでは天体観測を目的とする活動である「観望会」と「出撃」についてお伝えします。

観望会

観望会とは毎月新月期（※月が新月に近く、月の光が少ないため星が見やすい時期）の土日におこなわれる、山奥に行って星を見る会のことです。土曜日の夕方に集合して車で観望地に向かい、一晩中観望をおこなって日曜日の朝に京都に戻ってきます。観望地へ車で３～４時間かけて行き、明かり一つない暗闇の中で見上げる満点の星空はまさに絶景です。



▲2025年６月に三重県の鵜倉（うぐら）園地でおこなわれた観望会にて。美しい天の川や流れ星などとハートのオブジェがマッチしてロマンチックな雰囲気を醸し出す。



▲2025年４月に京都府南山城村の笠置（かさぎ）中学校でおこなわれた観望会にて、望遠鏡を用いて撮影された写真。４月は新入生の数が多いため普段より近場になり、少し明かりのある場所での観望会となってしまうが、それでも望遠鏡を使えば小さい星団の写真もきれいに撮れる。

出撃

「１、２日後に晴れそうな観望地がある」という時に突発的にその観望地に行き、星を見る会のことを出撃と呼びます。
晴れそうな日を狙っておこなわれるので観望会と比べて成功率が高いです。



▲2025年９月の奈良県の御杖（みつえ）での出撃にて。６つの１等星で構成される冬のダイヤモンドが美しい。



▲2025年８月の奈良県の大台ヶ原（おおだいがはら）での出撃にて。展望台が夜空に向かって伸びているように見える。

ちなみに
冬のダイヤモンドとはシリウス、リゲル、アルデバラン、カペラ、ポルックス、プロキオンの６つの１等星を順に結んでできる六角形のこと。



◀2025年４月の鵜倉（うぐら）園地での出撃にて。星空を見ながらブランコに２で座る姿に青春を感じる。

はみだしすてーじ

気づけば1日が終わっている……
⇒気づけば１年が終わっている……

（工・１　みかん）
（１日１日を大事に；編）

活動紹介②　その他の活動

ここからは天文以外の活動についてお伝えします。天文以外の活動としては普段の例会、合宿での観光、定期的に行われるコンパ、その他イベントなどがあります。今回はそれらのうち合宿、例会およびイベントをピックアップしてご紹介します。

合宿

天文同好会の合宿は夏休み、12月、春休みの年３回おこなわれ、普段の観望会や出撃では遠くて行けないところまで２～４日かけて行きます。合宿では夜に天体観測をするのはもちろんですが、天体観測のできない昼間には観光をしたり、スポーツ大会を開催したりとやることが盛り沢山です。今回は今年の春休みに愛媛・高知を中心としておこなわれた合宿の様子を見てみましょう！



▲１日目はほぼ京都からの移動に費やすが、道中で何度か寄り道。これは淡路ＳＡのデッキからの眺め。海の向こう側にはさっきまで走っていた本州を見ることができる。



▲２日目は愛媛観光。道後温泉や下灘駅へ。写真はお昼ご飯の鯛めし。ご飯の右の卵醤油に鯛を入れて混ぜ、ご飯にかけて食べるみたい。



▲３日目は高知観光。桂浜から太平洋を眺める。リゾート感のある木も相まって南国のような雰囲気。この後砂浜に下りて足をずぶ濡れにした人がいるとかいないとか。



▲４日目はスポーツ大会。とはいっても一部の人が好きにスポーツをしているだけでこの日の過ごし方は様々。そろそろ疲れがたまってきて宿で寝ている人も。



▲有志を募って車を出し四国カルストへ。大自然の中で風を感じながら食べるお弁当はとても美味しい。



▲５日目は朝に宿を出発し、１日かけて寄り道しながら京都に帰る。ちょっと遠回りだけど広島に寄って厳島神社に行った班も。



▲香川にある津嶋神社。小島に奉られている本殿までは橋が閉鎖されており普段は入ることができないが、対岸から橋と一緒に見える本殿にもまた違った良さがある。







◀もちろん夜は天体観測。普段の観望会や出撃よりさらにきれいな星空が見えたり、そこにしかないオブジェを使って写真が撮れたりと、普段行けないところに行くメリットは大きい。

はみだしすてーじ

京大３年目でも大学構内探検楽しい
⇒いいですね！　時間を見つけてやってみたいです

（薬・３　リボフラビン）
（南部構内とかほぼ行ったことないし楽しいかも；編）

例会

例会は時期ごとに内容が異なり、主に前期は新歓での活動紹介・天体紹介・クイズ大会などを、後期はＮＦに向けての準備（星座のレジンを作る、プラネタリウムの練習など）や、その振り返りをしています。また、合宿前にはその行き先、スケジュールなどについて話し合うこともあります。

イベント

天文同好会では日常的に多種多様なイベントがおこなわれています。その中にはなかなか他では見られない変わったイベントもあるとか……？　果たして彼らはどんなイベントを実施しているのでしょうか？　ほんの一部ですが覗いてみましょう！



▲天文同好会ではなぜかクリスマスの夜に岐阜まで車で行き、岐阜タンメンを食べる会が毎年開催されるそう。美味しそうだし楽しそうだけどなんで？



▲嵐山観光。ちょっと街中で食べ歩きも挟みながら竹林や庭園の中を歩き回る。庭園は意外とたくさんあり、どれに入るか決めきれないことも。



▲嵐山観光のついでに嵐山モンキーパークへ。かなり坂を登らないといけないけれど、頂上近くまで行くとあたり一面サルだらけ。

さいごに

今回の記事で紹介した通り、天文同好会では天文に関係する活動だけでなく、それ以外の活動も幅広くおこなっています。少しイメージが変わったのではないでしょうか？

興味を持った方、より詳しく活動について知りたい方はぜひ各種ＳＮＳやホームページをチェックしてみてください。

▲X

▲Instagram

▲ホームページ

はみだしすてーじ

先輩としての振る舞い方がわからない
⇒激しく同意。自分は後輩の方が圧倒的に向いてる気がする

（理・２　KK）
（頼りない先輩にならないように気をつけたい；編）